

# 目 次

## 文化経済学会＜日本＞2011年名古屋大会

### ≪凡例≫

発表タイトル及び討論者名末尾の上付き数字が担当討論者番号となります。

例) タイトル末尾の番号に対応する方が担当討論者となります。

<b>①-A 創造的産業</b>	●座長：勝浦 正樹 ●討論者：河島 伸子 <sup>1</sup> ／後藤 和子 <sup>2</sup>
タイトル	発表者
コスプレの文化経済学：その創造、流通、享受の変遷 <sup>1</sup>	梅本 克
	後藤 和子／

### 分科会 ①

#### ①-A 創造的産業 ●座長：勝浦 正樹 ●討論者：河島 伸子<sup>1</sup>／後藤 和子<sup>2</sup>

タイトル	発表者	頁
コスプレの文化経済学：その創造、流通、享受の変遷 <sup>1</sup>	梅本 克	10
電子書籍の文化経済学 -日本の現状と課題 <sup>1</sup>	後藤 和子／ 柳 与志夫 太下 義之 岩本 洋一	11
コンテンツ産業におけるボーモルのコスト病 -日米映画産業の比較研究- <sup>2</sup>	石川 洋聡／ 瀧野 保樹	13

#### ①-B 教育・人材育成 ●座長：衛 紀生 ●討論者：八木 匡<sup>1</sup>／藤原 惠洋<sup>2</sup>

タイトル	発表者	頁
デンマークのクリエイティブ・ウェルフェア -デンマークの知識経済移行の雇用政策(フレキシキュリティ)と社会的統合 <sup>1</sup>	加藤 壮一郎	16
愛知県立芸術大学のアウトリーチ活動とキャリア支援教育 <sup>2</sup>	壬生 千恵子	18
大学のクリエイティブネットワークを活用したグループ学習の実験研究 -青山学院大学「職域探求・人材育成ラボ」におけるケーススタディー <sup>2</sup>	大前 研二／ 國井 真実 栗畑 夕子 高濱 絵梨佳 宍倉 洋介 井口 典夫	19

①-C 文化活動・施設の計量分析・統計 ●座長：井口 典夫 ●討論者：澤村 明<sup>1</sup>／坂本 崇<sup>2</sup>

タイトル	発表者	頁
文化芸術活動に向かわせる規定要因の分析 <sup>1</sup>	有馬 昌宏	22
平成22年の郵送式調査票調査による公立文化ホールの類型化とその地域性の考察 <sup>2</sup>	加藤 広祐／ 清水 裕之 大月 淳	24
無形民俗文化財の価値評価に関する実証分析 ―博多祇園山笠を事例として― <sup>2</sup>	畠野 浩一	26

①-D 研究報告：観光・遺産・景観

●座長：友岡 邦之 ●討論者：山田 浩之<sup>1</sup>／佐々木 晃彦<sup>2</sup>／増淵 敏之<sup>3</sup>

タイトル	発表者	頁
文化遺産としての現代観光施設 ―懐かしい昭和としての京都タワー― <sup>1</sup>	金武 創	30
ふさの国の古墳群と地域の自律 ―装置としての景観づくりの試み <sup>2</sup>	薩佐 久仁子	32
固有価値活用による価値創造型の社会的企業 ―郡上市のグリーン・ツーリズムを事例として― <sup>3</sup>	富本 真理子	34

分科会 ②

②-A 文化施設の運営・事業 ●座長：佐々木 享 ●討論者：端 信行<sup>1</sup>／小林 真理<sup>2</sup>

タイトル	発表者	頁
アメリカにおける美術館のアカウントビリティ ―クリーブランド美術館を事例として― <sup>1</sup>	原嶋 千榛	38
空間利用と事業プログラムを視点とした創造活動支援施設の運営システム特性 <sup>2</sup>	坂口 大洋／ 小野田 泰明	40
地域の公立劇団が活動拠点とする公立劇場の空間・組織・運営・活動について ―SPAC-(財)静岡県舞台芸術センターを事例として <sup>2</sup>	仲村 悠希／ 清水 裕之 村山 顕人	42

②-B アートと社会 ●座長：美山 良夫 ●討論者：後藤 和子<sup>1</sup>／吉本 光宏<sup>2</sup>

タイトル	発表者	頁
現代美術と著作権法 <sup>1</sup>	河島 伸子	46
福祉と創造のコラボレーションによるアートプロジェクトの企画運営と評価 ―共創美術の可能性をめぐる― <sup>2</sup>	谷口 文保	48
アウトリーチによる教育的効果とシステムに関する課題 ―小学校における創作プログラムを通して― <sup>2</sup>	梶田 美香	50

## ②-C 文化経済システムの計量分析・統計

●座長：八木 匡 ●討論者：勝浦 正樹<sup>1</sup>／太下 義之<sup>2</sup>

タイトル	発表者	頁
文化関連需要の構造と要因 -国内観光需要の要因分析- <sup>1</sup>	小川 雅司	54
アニメのインターネットでの違法再生パターンについて <sup>2</sup>	小山 友介／ 鈴木 陽典	56
日本の文化的財政支出の時系列変動に関する統計的分析 <sup>1</sup>	保原 伸弘	58

## ②-D 文化経済の思想史

●座長：伊藤 裕夫 ●討論者：北村 裕明<sup>1</sup>／中谷 武雄<sup>2</sup>

タイトル	発表者	頁
ライオネル・ロビンズと文化政策 -芸術行政の参与と「ロビンズ・プリンシプル」 <sup>1</sup>	木村 雄一	62
「文化資本」概念の再検討 Gordon Shockley の問題提起より <sup>2</sup>	持元 江津子	64
アダム・スミスの模倣芸術論：人間の喜びと芸術の価値 <sup>1</sup>	中谷 武雄	66

## 分科会 ③

### ③-A 文化産業と観光

●座長：増淵 敏之 ●討論者：徳永 高志<sup>1</sup>／後藤 和子<sup>2</sup>

タイトル	発表者	頁
旧中山道の徒歩や自転車による観光の課題 -街路状況や景観特性、観光資源の分布に着目して- <sup>1</sup>	興石 和弘／ 清水 裕之 村山 顕人	70
鹿児島天保山公園台場の文脈的価値 -現代観光政策による文化財の保存・活用を巡って- <sup>1</sup>	近藤 太一	72
日本の地域における IT に立脚したクリエイティブ産業と文化の形成過程 -札幌における IT 文化史から- <sup>2</sup>	岡田 智博	74
創造的人材と地域ものづくり企業の成長基盤 -イノベーションの源泉としてのアート・デザインと東部大阪地域産業支援システム- <sup>2</sup>	本田 洋一	76

### ③-B パフォーミングアーツ・スポーツ

●座長：北村 裕明 ●討論者：若松 美黄<sup>1</sup>／草加 叔也<sup>2</sup>

タイトル	発表者	頁
芸能分野別から見る我が国の芸能形態を考察 <sup>1</sup>	中坪 功雄	78
歌舞伎公演出演傾向の世代間比較 <sup>1</sup>	坂部 裕美子	80

まちづくりは人づくり 壮瞥町「昭和新山国際雪合戦大会」を事例に <sup>2</sup>	松野 光範／ 中嶋 大輔 横山 勝彦	82
まちづくりにおけるスポーツとアーツの関係性 －大分県「川添なのはなクラブ」を事例に－ <sup>2</sup>	中嶋 大輔／ 松野 光範 横山 勝彦	84

③－C まちづくり・地域活性化 ●座長：中川 幾郎 ●討論者：鈴木 滉二郎<sup>1</sup>／松本 茂章<sup>2</sup>

タイトル	発表者	頁
アートによる集客と地域の変容 ー香川県直島における美術館集積過程を中心に <sup>1</sup>	西 孝	88
マンガ・アニメを活用した地域活性化 ー境港の水木しげるロードの事例から <sup>1</sup>	野田 邦弘	90
中山間地域経営学の基礎： C.バーナードの今日的意義 <sup>2</sup>	古畑 浩	92
創造の場に求められるマネジメントに関する考察 －創造性のレベルに着目して <sup>2</sup>	上野 信子	94

③－D 文化政策 ●座長：小林 真理 ●討論者：山田 太門<sup>1</sup>／佐々木 亨<sup>2</sup>／河島 伸子<sup>3</sup>

タイトル	発表者	頁
伝統芸能における所得保障機能 <sup>1</sup>	八木 匡／ 臼井 喜法 高島 知佐子	98
地域型アートプロジェクトによるソーシャルキャピタルの活性化について －あいちトリエンナーレ2010 長者町会場における事例分析を通して－ <sup>2</sup>	吉田 隆之	100
超地域的な芸術文化支援制度についての一考察 －フォーサイス・カンパニーを例に <sup>3</sup>	秋野 有紀	102